

連日の猛暑に苛むこの夏、少しでも涼を求めて夜空を眺めれば、宇宙、天体に関心のある方ならば、はくちょう座のデネブとわし座のアルタイル、こと座のベガの3つの一等星からなる「夏の大三角形」に気付くはずです。

宇宙に天体は浮いている不思議と思いませんか

漆黒の真空透明の宇宙空間には、太陽や月を始め、天の川、無数の星々が煌めき、そして大空の中に浮いています。不思議と思いませんか？

私達の地球を始め太陽、その他の星々の重量に想いを馳せたことがあるでしょうか？今日の宇宙物理学ではこれらの天体の全ての重量を計算することが出来ています。

- ・地球の質量・・・ 6×10^{24} 乗 kg
- ・太陽の質量・・・ 2×10^{30} 乗 kg
- ・銀河の質量・・・ 2×10^{41} 乗 kg
- etc

人智では想像出来ない超重量の星々や天体が、真空透明の宇宙空間に浮いているのです。何故でしょうか？不思議と思いませんか？

地球を覆う空気よりもはるかに軽い真空で成り立っている大宇宙空間。その無限に広がる真空透明の中に、全ての天体を浮かす無限大なる力が備わっているのです。それを現代の宇宙物理学では未知なる素粒子と推定するダークエネルギーとかダークマターと推理しているようです。では真空透明な宇宙とは？ダークエネルギーとかダークマターとは、何なのでしょう？謎は深まるばかりですね・・・。

ウク

浮

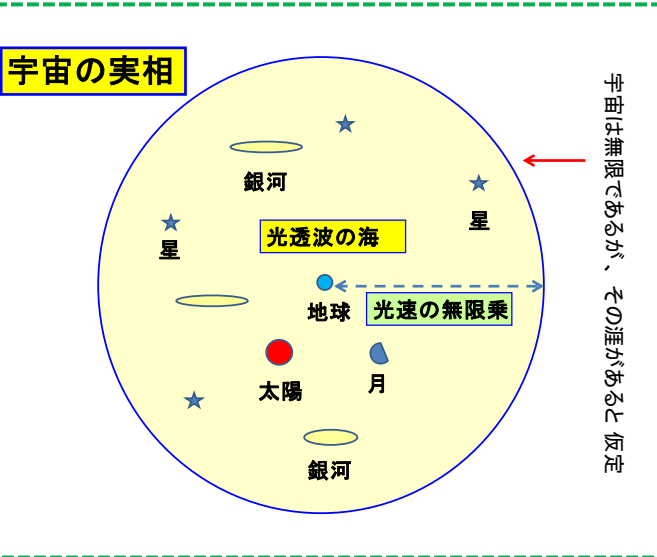
シ 詞

孚 マコト

光透波

真は光透波の海に浮いている

真空透明の光透波の中に、地球・太陽・銀河等が浮いているのが真事であることが分かります。



「浮」の文字の奥に秘められた宇宙の実態

ところが、面白いことに、文字の奥に潜む真理を読み解くことが出来る言霊学＝光透波の字割解釈によって、この謎をもの見事に明らかにしている文字があるので紹介いたします。

それは「浮」という字です。この文字を字割解説したものが右上の図解です。

少々難しいので解説をしてゆきましょう。この宇宙の森羅万象、一切万有は波動により生成流転していることは現代の科学でも認知されています。

大宇宙の中で脈動するありとあらゆる無限の波動の中で、最小究極、最強の根源的な波動が、光

すらも透明にさせてしまう「光」の「透」明の「波」動、すなわち「光透波」なのです。

図らずも光透波→コトハ→言葉に通じる無限究極の一切万有を生み出しているエネルギーであり、波動でもあるのです。「浮」→「シ」+「孚」。光透波理論では「シ」＝「詞」＝「光透波」の意味になり、

「孚」は「まこと」と読みます。したがって水に浮く油が浮くの意味の「浮」の文字の奥に隠された深意は、上の図のように光透波の海の中に全ての天体が浮いていることを、表現している文字だったのです。

光透波は新しい時代を開く哲理・混迷打開の道標

このように文字の言霊学＝光透波理論の字割をすることにより、文字や言葉の奥には今までの常識では考えられない深い哲理や真理が秘められていることが理解できるのです。

そしてその一文字一文字の奥に秘められた真理の中に、悩み苦しみ迷いに迷っている現代人の活路、道標が秘められているのです。

この新しい時代を開くの哲理・光透波を、一緒に学んでみませんか？ 文責 宿谷

命波の誓図

連載 — 13

40年来の命波の同志・林和也氏も「言霊ハンドブック」等を発行

【前号から続く】 光透波関係の書籍紹介で遅くなりましたが、兵庫県播磨の林和也氏は2008年12月1日、「山河人がゆく」。(聖なる地、日本を旅して)を出版されました。自ら日本各地を徒歩旅行した視点からのアプローチです。2009年9月1日には随想集「言の葉」を出版されました。5年間にわたりミニコミ誌に連載したものをまとめ上げたものです。林氏は他に「言霊ハンドブック」など小冊子を数々出しています。

林和也氏のご自分の使命を求めて、小田野先生の講義を名古屋ワードサイエンスの時代から受講され続けておられました。大学生の時代から小学校教諭になってからも、毎月1回兵庫から名古屋に通われ続けられた方です。40年の命波の同志です。現在、地域の公共施設や自宅で言霊や健康についてのセミナーを開催され活躍中です。

兄は命波学探求の至らなさに気付き、一層の研鑽に努む

兄の堀尾泉實氏の話に移らせていただきます。既に記しましたように兄は令和元年8月3日に逝去いたしました。今月の3日をもって丸4年を迎え5年目を迎えます。早いようで・・・、思えば様々なことが思い出され複雑な思いにかられます。

本稿で既述してきましたように、兄は紆余曲折の経過の後に自分自身の命波学の探求が足らなかったことに気付き、以来より一層、命波学の研鑽を心掛け原稿の執筆にも心掛けていました。

画龍点睛、天鏡図に「矢」を入れることを決断する

そのような最中の平成28年(2016)年3月24日に、兄は「天鏡図」の八行目のヤに「矢」の字を入れることを決断いたしました。「天鏡図50音図」の八行目のヤ行のヤの柵に「屋・也」の2字が納まっているのですが、その中に「矢」の字を加え3字とすることにしたのです。

(名古屋に小田野先生がいらっしゃった当時、すでにヤ行の「ヤ」の柵に「矢」を入れる構想はすでに挙がっていました)

堀尾泉實氏が天鏡図に「矢」の字を入れる決断をした時、「画龍点睛」と左から右へ音が走り去ったと、兄は言っていました。

画龍点睛という意味は龍の睛(ひとみ)を書き入れたことで、龍が動き出す意味であり、それは天鏡図の最後の仕上げとも受け取れます。そして、「天鏡図」は全125字となりました。

そこに、天の深いご意図が仕組まれていたと、理解しています

光透波の知識や天鏡図の本質を知らない方には、「矢」の文字を入れる意義の重要性を理解出来ないと思いますが、ここには深い天の御意図が仕組まれていたのです。

「矢」を字割すると「ノと天」に分解できると、ノは能きと取りますと「天の能き」と読めます。又、ヤはローマ字でYAとなります。アルファベット数位でAは数字の1・Yは数字の25となります。YAをAYと逆読みして、その数を横に並べますと125となります。一つの検証となります。

「矢」を入れたことが正解であることを暗示する家族の出来事がありますので紹介いたしましょう。それは小田野先生と14年間一緒に生活し、私共兄妹とともに命波を学んでいました母・華子が、平成28年6月22日早東部医療センター1511号室で安らかに逝きましたことです。母が今生を全うした時、兄は病院の名の「東部」と部屋番号「1511」に気づき字割をしていました。

東部とは(トウブ=答于分)1511号室は(15はO・11はK=OK)となり、「OKの答えがここに分かる」と紐解きました。つまり、兄は小田野先生と不思議なご縁を持つ母の逝去の字割を通して天鏡図に「矢」を入れたことがOK

サインの答えであると受け取ったのです。

無断で「矢」を入れたことを、その後の兄は苦悩する

それでも、兄は「画竜点睛」の啓示を受け、字割で検証できても心は晴れずにいたのです。「天鏡図」は小田野先生が天からの啓示を受けられて4年4か月と6日を費やされて、大変なご苦労をされて作成されましたことを考えますと、「天鏡図に矢の字」を入れたことは小田野先生に申し訳なく心が落ち着かずおりました。心情として自分は何の苦労もしていないと苦悩していたのです。

そんな中に令和元年6月19日に宿谷直晃氏が東京から小田野先生の手直しされた「天鏡図」を兄の元へ携えて持って来られたのです。そこに「天鏡図のヤ行に矢の字」が納まっていたのです。それを観た兄の心情は深い絶句と安堵の思いを頂いた様子でした。

命波学・天鏡図に生涯を通じ真剣に取り組んできた兄は、「矢」の入った小田野先生の最終版の天鏡図を見て安心し、その一瞬から兄の感性はより一段と優しく変わってゆきました。

兄の人生は命波学一途、惜しまれて天寿を全うする

思い起こせば、昭和49年3月23日、小田野先生66歳、兄26歳の時お出会いし、以来、昭和63年11月11日までの14年間、命波学の体系化と普及と共に心血を注いで邁進された小田野先生と兄は深い霊統の間柄と思えます。

「矢の字が納まっていた」ことを確認してから、兄はこの世の務めを果たさせていただいたかのように、その45日後の8月3日早朝4時に天寿を全うして、あっという間に旅経ちました。

さあこれからと兄も命波同志も私も勢いづいていましたのに、まさか突然のお別れが来るなんてと、母の時もそうでしたが、兄の葬儀も、あっという間に皆様に御助けを頂き納めさせていただきました。

兄のお通夜は葬儀場で、命波学を兄から学ばれた同志13名の方々が遅くまで残ってくださり執り行われました。棺の前で思い思い心の籠る言葉を架けてくだされたり、また皆様が般若心経など唱えてくださり、夜更けまで供養と追悼と賛辞の集いでした。その弾けるような雰囲気、こんな楽しい明るいお通夜は初めてと言って下さるほどでした。兄もきっと全て受け止めて喜んで逝かれたと思いました。皆々様には心から感謝申し上げます。

兄の遺志を継いで、命波学の発展に努めてゆきたいと念じています

あれから丸4年を経過し、お陰様で兄の遺志を引き継いで名古屋での命波学の講座を継承させていただいております。兄の晩年・平成30年(2018)6月22日に刊行しました「21世紀の理論・命波学教本」は、小田野先生とご縁を得て天寿を全うされるまでの45年間の兄の命波学の足跡の「集大成」というべき著書です。「私のバイブル」になっています。微力ではありますが兄が遺した命波学を継がさせて頂く覚悟で、これからもご縁の方々により精進してお伝えして参りたいと思います。どうぞよろしく願い致します。 つづく 堀尾君子

8月 光透波セミナーのご案内

●光の言波・真理教室 (第146回 光透波セミナー)

- 日 時 8月21日(月) PM 1:30~PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 A (4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「宇宙の創生と光透波」 JR浜松町(北口)地下鉄大門(B1)4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3,000円

●Zoom入門講座

- 8月15日(火) PM 8:00~PM10:00 「②次元、生命のお話」

- 講 師 宿 谷 直 晃 ●参加費 3000円

※ 以上、お申込み、お問い合わせは宿谷へ syu98-8do8@mbr.nifty.com 090-2447-2037

●名古屋 命波学講座

- 日 時 8月13日(日) PM 1:30~PM4:30 和やか会
●日 時 8月22日(火) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第3回
●日 時 8月23日(水) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第7回
●日 時 8月26日(土) PM 2:00~PM5:00 基礎講座 第2回
●日 時 8月28日(月) PM 1:00~PM4:00 基礎講座 第4回
●場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
●講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●名古屋 光透波塾

- 日 時 7月20日(木) AM 10:00~PM 0:00
●演 題 基礎講座第2回 「生命のお話」 ●場 所 磯部宅 (名古屋市熱田区旗屋2-16-4)
●講 師 磯部賢一 ●参加費 3,000円

●熱田神宮参拝と光透波講座の集い

- 日 時 8月 12日(土) 22日(火) AM 10:00~PM 1:00
●演 題 12日 = 「五十音意識と神の関係」 22日 = 「文字は観音 天照」
●場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)
●講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

※ 以上、お申込み、お問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●Zoom 入門講座

- 8月13日(日) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「光透波の全体像」
● 8月17日(木) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「霊魂をどのように認識するか？」
●講 師 磯部賢一 ●参加費 各3,000円

●Zoom 中級字割実践講座

- 8月 3日(木) PM10:00~PM 0:00 ●演 題 「数とアルファベット変換」
● 8月10日(木) PM10:00~PM 0:00 ●演 題 「字は幾何学構造でできている」
● 8月17日(木) PM10:00~PM 0:00 ●演 題 「弥勒の仕組み」
● 8月24日(木) PM10:00~PM 0:00 ●演 題 「理論と文字の検証」

●Zoom 光透波講座

- 8月 2日(水) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「般若心経と光透波」
● 8月 3日(水) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「瞑想と光透波」
● 8月16日(水) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「日月神示と光透波」
● 8月23日(水) AM10:00~PM 0:00 ●演 題 「哲学と光透波」

※ 以上各Zoom講座の申込み、問い合わせは磯部へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

●播磨言霊セミナー

- 日 時 8月13日(日) PM 2:00~PM 4:00
●場 所 林仙山荘 (林宅) 兵庫県加古郡播磨町西野添2-5-12
●演 題 「日本語が世界を救う」 ●参加費 2000円 二次会参加費1500円
●講 師 林和也 ※ 講座の申し込み先 090-8580-3776 (林まで)

光透波

- ・ 實光透波研究会 名古屋市名東区香南1-103-8-201 堀尾君子 090-8499-5989
- ・ 光透波塾 名古屋市熱田区旗屋2-16-4 磯部賢一 090-9199-0248
- ・ 光の言波真理教室 東京都品川区小山6-19-5 宿谷直晃 090-2447-2037
- ・ 光透波言霊セミナー 兵庫県播磨町西野添2-5-12 林和也 090-8580-3776

光透波のホームページ

<http://kotohawanokai.web.fc2.com>